【播磨病院内科疾患情報　No.8】

頭痛に悩んでいませんか？

頭痛は誰もが経験したことのある一般的な症状ですが、繰り返し起こることで日常生活に支障を来たす場合や、重大な病気の初期症状として出現する場合には治療を要し、注意が必要です。いつもの頭痛だと放置していませんか？

《頭痛の種類　：ひと口に頭痛といっても、種類があることをご存知でしたか？》

風邪や二日酔いによる「日常的に起こる頭痛」は原因が解消されれば自然に軽快します。

ところが、クモ膜下出血や脳出血などによって起こる「脳の病気に伴う頭痛」は、何の前ぶれもなく激しい痛みが現われることも多く、生命に危険が及ぶケースもあるので注意が必要です。

「機能性頭痛」は「慢性頭痛」ともいわれ、頭痛全体の約８割を占めます。その原因や痛み方によって ①片頭痛 ②緊張性頭痛 ③群発頭痛に大別され、頭痛のタイプによって、対処法や治療法も違ってきます。たとえば緊張型頭痛の場合、軽い運動や入浴によって痛みがやわらぐものですが、もし片頭痛の人が同じことをすると、かえって症状が悪化する場合が多いのです。

その他、高血圧や緑内障、更年期障害など頭痛の原因はさまざまです。どのタイプの頭痛なのか、それがあいまいなままだと、せっかく治療を受けても十分な効果が得られないこともあり、またそればかりでなく、さらに症状を悪化させることにもなりかねません。

突然に見舞われる強い頭痛はもちろんのこと、安静にしていても治まらない、あるいは繰り返し起こり、次第にひどくなるような場合、そして市販の鎮痛剤を服用してもいっこうに改善されないといったときには、早めに内科担当医に相談しましょう。

（文責；平木場）

【播磨病院内科疾患情報のバックナンバーは播磨病院ホームページ http://www.harima-hp.jp/main.htm からご覧になれます】